CASBEE名古屋 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版、名古屋市建築物環境配慮制度届出書記載マニュアル2026　使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2026(v1.0)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)北区清水三丁目計画 新築工事	階数	地上10F
建設地	北区清水三丁目1701番地1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	154 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年7月 予定	評価の実施日	2026年10月15日
敷地面積	1,419 ㎡	作成者	
建築面積	581 ㎡	確認日	2026年10月15日
延床面積	3,505 ㎡	確認者	

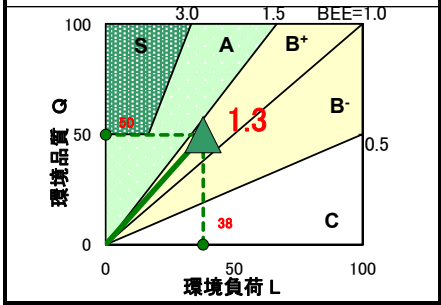
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ)

BEE =1.3

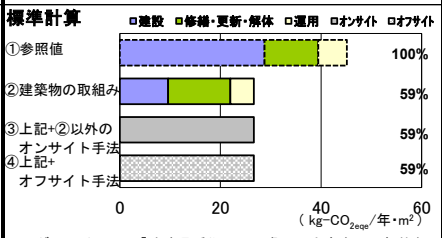
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響ﾁｬｰﾄ)

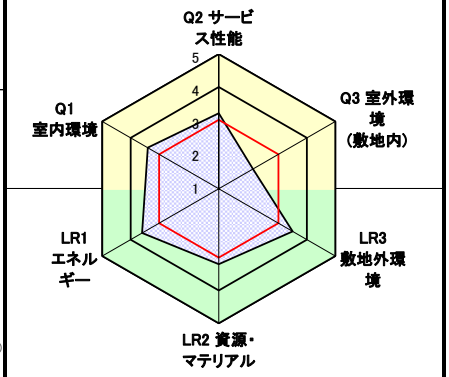


30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆ 80%: ★☆☆ 100%: ★☆ 100%超: ★



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

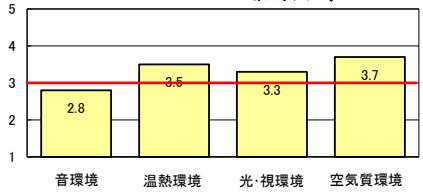
2-3 大項目の評価(ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ)



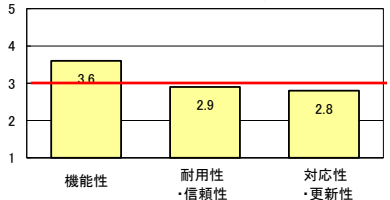
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　Q のスコア= 2.9

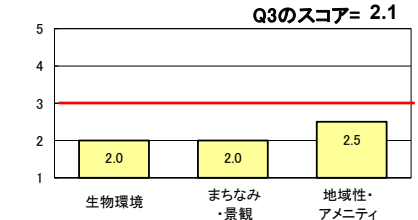
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.4



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.2

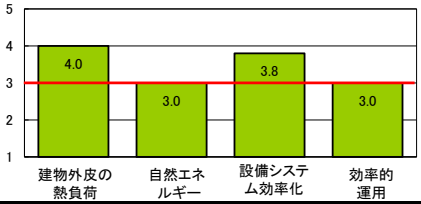


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.1

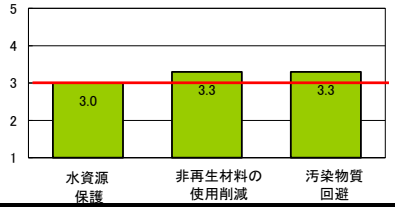


LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 3.4

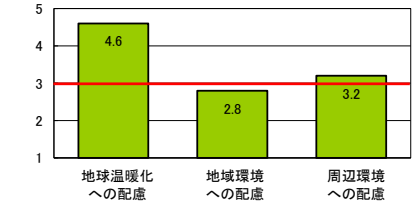
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.6



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.2



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.5



3 設計上の配慮事項

総合

住宅性能評価で断熱等性能4を超える等級、一次エネルギー消費量ZEH-M水準を取得する計画とし、省エネルギーに配慮している。

その他

特になし

Q1 室内環境

断熱性能を平成25年基準による省エネルギー対策等級4を超える等級とし、外皮性能に配慮。F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。

Q2 サービス性能

耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地内緑化により、緑の量の確保に配慮している。

LR1 エネルギー

高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。

LR2 資源・マテリアル

リサイクル資材の採用によって、部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。

LR3 敷地外環境

広告物照明を行っていないことにより、光害抑制となっている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE名古屋 評価結果

重点項目スコア・結果シート

(仮称)北区清水三丁目計画 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2026(v1.0)

重点項目			評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策					3.7
LR1	エネルギー		3.6	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮		4.6	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.05	
2. 自然共生					2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出		2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮				
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.045	
3. 循環型社会					3.2
LR2.1	水資源保護		3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2		2.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 ＝ 3.7



2. 自然共生

評価点 ＝ 2.3



3. 循環型社会

評価点 ＝ 3.2



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{\text{(評価点×全体に対する重み)の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 I 2)地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4)地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。